

科目名	ソーシャルワーク論Ⅰ					単位	2.0
担当教員	平澤 恵美						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	4112

●授業のテーマ

相談援助に求められる基盤と専門職の役割について学ぶ

●到達目標

- ・ 相談援助の理念と概念、範囲について理解する。
- ・ 相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。
- ・ 相談援助に係る専門職の概念と範囲、専門職倫理について理解する。
- ・ 総合的・包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。

●学習内容(授業概要)

本講義では、ソーシャルワーク実践の基盤と専門職について学ぶ。ソーシャルワーカーの役割と意義について考え、ソーシャルワークの概念と範囲を検討することにより、利用者の生活の質を向上させるための方法や権利擁護の意義、多職種連携に求められる技術についての理解を深める。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション ～ソーシャルワークとは～
2. 相談援助専門職の役割と意義
3. 相談援助の概念と範囲
4. ソーシャルワークの形成過程Ⅰ ～ソーシャルワークの歴史から～
5. ソーシャルワークの形成過程Ⅱ ～日本のソーシャルワーク～
6. ソーシャルワーク実践Ⅰ ～相談援助に求められる視点～
7. ソーシャルワーク実践Ⅱ ～ソーシャルワークの価値～
8. ソーシャルワーク実践Ⅲ ～総合的かつ包括的な援助～
9. ソーシャルワーク実践Ⅳ ～地域を基盤としたソーシャルワーク～
10. ソーシャルワーク実践と権利擁護
11. ジェネラリスト・ソーシャルワークの視点
11. 専門職倫理と倫理的ジレンマ
12. 専門職の範囲と多職種連携
13. 事例からみるソーシャルワーク実践Ⅰ ～総合的機能の視点～
14. 事例からみるソーシャルワーク実践Ⅱ ～権利擁護の実践～
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

授業内に提示するテキストの範囲を事前に学習しておくこと。講義で学んだ内容をノートとして整理し、後期に向けてまとめを作成すること。

●成績評価方法・基準

授業の参加状況20%、レポート40%、試験40%

●テキスト（必携）

新・社会福祉士養成講座 第6巻『相談援助の基盤と専門職』中央法規出版

●参考文献／その他

講義時に紹介

●履修上の注意

新聞・ニュースをはじめとして、日々の日常生活とも関連づけながら理解する努力をおこなってほしい。